

あんのん保育園自己評価

① 法人理念

- 子どもの最善の利益を尊重し、子どもが本来持っている「自ら育とうとする力」を誘導、援助し、個性豊かで身体共に健全に育つ援助を行う。
- いのちの教育を取り入れ、毎日の活動の中で思いやりと感謝の心を養う。また異年齢児交流活動を取り入れ心身共に意欲ある個性豊かな人格形成に努める。
- 県、市、保育協会等保育団体の主催する研修会に職員は積極的に参加し、新しいスキルを園で実践的に取り入れるようにミーティング時に報告する。
- 子ども一人ひとりの幸せにつながるために家庭の子育てを支援する。
- 保育所機能の開放、相談や援助、交流の場の提供及び促進、子育て支援情報の提供など、社会的貢献を果たす。

② 保育方針

保育の基本方針は「保育所保育指針」に依拠した上で次に上げる五つのことを心に留め、より良い保育のために日々努力研鑽を行う。

- 子ども、一人ひとりに目を向ける。
- 清潔と安全点検を毎日怠らない。
- 保護者の要望には快く対応する。
- 工夫する心、考える心。
- 園長、職員間の連絡及び報告の徹底。

③ 園目標

豊かに伸びていく可能性を秘めた子どもたちが、心身ともに健康で、現在を最もよく生き、将来に向けて「意欲的」で、しかも「思いやり」のある人格を育てること。言い換えると、20年後の姿を見つめ、社会の一員として生きていけること、困った時に自分で対処できる能力の基礎作りをすること。それにより豊かに伸びていく可能性を秘めた子どもたちが、心身ともに健康で現在を最もよく生き、将来に向けて「意欲的」かつ「共感性」のある人格を育てる。

- 子どもの心を大切にする保育、子どもに選択できる声かけを実施し、子どもの意思を尊重する保育、子どもの想いに寄り添う保育
- 四季を感じ、保育園の内外で自然に触れ（視覚、嗅覚、触覚）、自然環境の大切さを学ぶ。

④ 求める子どもの姿

健康な心と体	保育所の生活の中で、充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しを持って行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行う為に考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる
協調性	友達と関わる中で、互いの思いや考え等を共有し、共通の目的の実現に向けて考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げるようになる

道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、して良いことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場になって行動するようになるまた決まりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながら、決まりを作ったり、守ったりするようになる
社会性との関わり	家族を大切にしようとする気持ちを持つと共に、地域の身近な人と触れ合う中で、自分が役に立つ喜びを感じ地域に親しみを持つようになる 保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びに必要な情報を取り入れ、その情報に基づき判断したり、伝え合ったり、活用したりする 公共の施設を大切に利用する等して、社会との繋がりを意識するようになる
思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組み等を感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりする等、多様な関わりを楽しむようになるまた友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりする等、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えもより良いものにするようになる
生命の尊重 自然との関わり	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化等を感じ取り、好奇心や探求心を持って考え、言葉等で表現しながら、身近な事象への関心が高まると共に、自然への愛情や畏敬の念を持つようになるまた身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる
量・図形・文字等数	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字等に親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる
言葉による伝え合い	保育士等や友達と心を通わせる中で絵本や物語等に親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたこと等を言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる
豊かな感性と表現	心動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方等に気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる

⑤ 評価

自己評価の基準				
A よくできた				
B ほぼできている				
C 次年度以降努力義務				
領域	評価の観点			自己評価
運営体制	1	能率的、合理的な運営組織になっているか	A	
	2	職務内容が明確で協働できる体制か	A	
	3	職員の配置は適材適所か	A	
	4	行事の分担や担当の振り分けは適切か	A	
	5	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A	

	6	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言をし、施設の運営に関わっているか	A	
	7	打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	A	
	8	保育方針の周知・反映はできているか	A	
	9	開かれた園の運営をしているか (地域への保育公開)	A	
保育目標 保育計画	1	保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A	
	2	目標は各施設や地域の特色を生かしているか	A	
	3	目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A	
	4	目標は前年度の反省を生かしているか	A	
	5	目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	A	
保育計画	1	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	
	2	保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	A	
	3	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	4	素材・用具を適切に活用しているか	A	
	5	評価結果を基に保育の改善に努めているか	A	
年齢別・クラス経営・日々の保育	1	年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定できているか	A	
	2	年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか	A	
	3	年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A	
	4	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	A	
	5	意義や趣旨を理解した保育を行っているか	A	
	6	質の高い保育の提供意欲はあるか	A	
	7	指導の工夫改善をしているか	A	
	8	気になる子への対応は適切か	A	
	9	特色ある教育活動を取り入れているか	A	

	10	1日の流れは現行で良いか	A	
	11	伸び伸びと遊べる環境提供が できているか	A	
	12	道徳性の芽生えができるような 取り組みをしているか	A	
	13	年齢に合わせた生活習慣指導が できているか	A	
	14	身近な人への親しみが持てるよ うな取り組みをしているか	A	
	15	幼児の人間関係は円滑か	A	
	16	子どもと保護者と保育者の信頼 関係は築けているか	A	
	17	園児は園への適応をしているか	A	
	18	年齢に応じた食育活動を行って いるか	A	
	19	主体的に学びが芽生えるような 取り組みを行っているか	A	
	20	体力が向上するような活動をし ているか	A	
	21	振り返りや発達の記録を適切に 集積できているか	A	
行事	1	行事の種類や実施回数は適切か	A	
	2	行事のねらいを計画や実施に十 分生かしているか	A	
	3	乳幼児の活動範囲を明確にし、 自主的・実践的な活動をしてい るか	A	
	4	計画・実施・評価・改善の体制を とっているか	A	
	5	保護者の願いや意見を取り入れ ているか	A	
	6	行事への取り組みは全職員共通 理解のもと進めているか	A	
保健・安全指導	1	年齢別・クラス経営に生かされ るような具体的保健対策を講じ ているか	A	
	2	避難訓練・交通安全指導を計画 に基づいて適切に実施している か	A	
	3	健康・安全な生活に必要な習慣 や態度育成の為家庭への啓発を 行っているか	A	
	4	乳幼児の安全確保の為家庭・地 域社会・関係機関等と連携を 図っているか	A	
	5	年齢に合わせた健康・安全指導 を行っているか	A	

研究・研修	1	研修・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	
	2	園内研修の計画・運営は適切か	A	
	3	研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	
	4	研修・研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	A	
	5	外部の各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか	A	
	6	外部の各種研究会、研修会、講習会の内容を園内で共有しているか	A	
情報	1	乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか	A	
	2	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	A	
	3	各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか	A	
施設・整備	1	施設・設備の安全点検を計画的に行っているか	A	
	2	遊具・用具等を活用しやすいよう整理・保管しているか	A	
	3	不審者等への対策を機関と連携し行っているか	A	
	4	衛生環境の整備に配慮しているか	A	
	5	掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか	A	
出納経理	1	各種会計を適切且つ適正に処理しているか	A	

保護者施設間交流・連携	1	保護者との連携は取れているか	A	
	2	親支援となる活動を行っているか	A	
施設間交流・連携	1	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものか	A	
	2	他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか	A	
	3	指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか	A	
	4	参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園・小学校の教育を理解しているか	A	
	5	日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか	A	
	6	幼保小中と連携した事業を行い、子ども教育連携推進に取り組んでいるか	A	

施設間交流・連携	1	参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか	A	
	2	保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	A	
	3	乳幼児の興味関心に基づいて地域社会その他施設と交流しているか	A	
	4	地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れているか	A	
子育て支援の推進	1	地域の子育て支援の場として園庭や交流事業を実施しているか	A	
	2	地域に住む子ども同士あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか	A	
	3	「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	A	
	4	職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	A	
	5	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
情報の発信	1	園の公開に努めているか（自己評価の公表等）	A	
	2	保育園のお便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	
	3	行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A	
園内・外部評価	1	保育の評価を行っているか	A	ホームページ公開予定
	2	第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	B	以前導入しているので次のタイミングを検討中
	3	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A	